

## 第2回 テーマ 「学校における1年の営みについて」

- ・期 日 平成23年11月4日(金)3、4時限
- ・参加者 学生 20人
- ・学部教員 井門正美教授(教職実践演習実施委員会委員長)  
内海 淳准教授、佐川 馨准教授
- ・授業の進行 石橋研一客員教授、神居 隆特任教授、斎藤 孝客員教授

### 本時のテーマ、外部講師の紹介

外部講師である附属小学校・佐川真知子教頭の紹介等(石橋客員教授)

### 講義「附小における1年の営み」

・附属小学校の佐川教頭が、学校行事予定表及びスライドをもとに、1年間の主な学校行事や学年行事、教師が担当する主な仕事の内容などについて具体的に紹介した。



### 質疑応答

- ・学生から次のような質問が出された。  
「家庭訪問は減っているのか」  
「附属小の子どもの通学範囲はどこまでか」  
「学級テーマを作成する場合の留意点は何か」

### 演習 「6年A組 学級テーマを作ってみよう」

3グループに分かれ、演習シートをもとに「学級テーマ」を作る協議を行った。短時間であったが、各班で次のような学級テーマが作り発表した。



- ・「キセキ - 昨年までの思い出と明日への希望 - 」
- ・「円陣 - 32人のエンジン全開 - 」
- ・「6 A TRAIN - 卒業というゴールを目指してTRY - 」

講師である附属小・佐川教頭から、発表したどのテーマもとても素晴らしい。教師の願いが込められている学級テーマであると思う、というコメントをいただいた。

### リフレクションノートから

- ・学校の1年間の流れをイメージすることができた。1年目を精一杯がんばりたいと思った。
- ・年間を通じた行事などの流れについて具体的に理解できた。また、学級テーマでは、合い言葉などのキーワードが大切であると感じた。
- ・学級目標の作成について、子どもたちと教師一人で考えることは大変であると感じたが、今回、このように体験することができて良かった。

## 演習シート

「6年A組 学級テーマ」を作ってみよう。

<学級の実態> 男子16名、女子16名、計32名

- ・全体的に明るく素直な児童が多い。
- ・男女の仲は悪くはないが、精神的に女子の成長が早く、何事にも優位である。
- ・友達と交わることが苦手で、積極的に仲間に入れない児童が3名いる。
- ・協力することの良さを経験している。
- ・課題には取り組めるが、自分の考えを積極的に発表するまでには至っていない。

<教師の願い>

- ・学校の機関車となる自覚がほしい。
- ・卒業というゴールを目指しい...



<キーワード等 作成メモ>



6年A組 学級テーマ